

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度		平成18年度					
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり	根拠法令・例規等	岡山県後期高齢者医療広域連合条例			
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり	問	担当課(室)	保健課		
	小項目	施策	08	老人保健	合	職・氏名	保険医療係長 河井 健治		
事務事業名		04	後期高齢者医療広域連合負担金					電 話	64-1819

事業の実施		対象(誰・何に対して)		後期高齢者(長寿)医療制度被保険者	
目的(何のために)		後期高齢者(長寿)医療制度の適切な運営に資する。			
行政活動(どのような方法で)		後期高齢者(長寿)医療制度の備前市負担分を岡山県広域連合へ負担する。			
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)		後期高齢者(長寿)医療制度が安定した適正な制度となるようにする。			

事業の実績		実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
活動	実績	対象者数	人	5,542	6,036	6,070
		事業費	千円	1,611	10,025	407,335
		必要人員	人	0.00	0	0.05
		人件費	千円	0	374	76
		事業費	千円	1,611	10,399	407,411
		費用計	千円	1,611	10,399	407,411
結果	実績	国	千円			
		県	千円			
		支	千円			
		出	千円			
受	千円					
益	千円					
者	千円					
負	千円					
担	千円					
比	千円					
率	千円					
源	千円					
受	千円					
益	千円					
者	千円					
負	千円					
担	千円					
比	千円					
率	千円					

結果指標		結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	実績	対象者数	人	5,542	6,036	6,070
		対前年比	%	-	108.9%	100.6%
		活動コスト	円	1,611,000	10,399,000	407,411,000
		単位当たりコスト	円	291	1,723	67,119
結果指標②	実績	対象者数	人	5,542	6,036	6,070
		対前年比	%	-	108.9%	100.6%
		活動コスト	円	1,611,000	10,399,000	407,411,000
		単位当たりコスト	円	291	1,723	67,119

事業の成果		成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
一人当たり費用額	実績	目標値(A)		291	1,700	67,000	67,000
		実績値(B)		291	1,723	67,119	到達目標年度
		達成率(B/A)		100.0%	101.4%	100.2%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明							
年間費用額/対象者数 対象者一人当たりにかかる費用額を目標値として設定している。							

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成20年度事業)		
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E>	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	判定理由・課題認識 後期高齢者(長寿)医療制度を運営するための広域連合への負担金であることから、制度運営上妥当である。	
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>	C
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識 後期高齢者(長寿)医療制度の対象者は増加しており、医療費もまた増加している状況から負担額は増加する傾向にあり、コスト削減は困難な状況である。	
有効性の評価	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E>	B
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識 制度運営上負担するべきものであることから必要な事業である。	

平成21年度の状況		目標値	結果指標量①	67,000	結果指標量②	67,000.0
状況	説明	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合
		○				休止
適正に継続して事業を行う。						

総合評価		評価区分<A~E>	妥当性	有効性	効率性
後期高齢者(長寿)医療制度は、対象者及び医療費ともに増加していることから、今後も負担額は増加する見込みである。しかし、制度運営を適切に行うためには必要な事業であることから継続して実施する必要がある。		B	△	△	△

平成22年度以降の方向性・内容		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
改善がある場合	説明	方向性		○					
		説明	適正に継続して事業を行う。						
改善がある場合	説明	評価の視点	改善内容		改善時期	改善により期待される効果			